

単元名 球技(ゴール型)〈ハンドボール〉

配当時間 14 時間

- 単元の目標 (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ハンドボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解するとともに、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) ハンドボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、作戦などについての話し合いに参加したり、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めたり、仲間の学習を援助したり、健康・安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

13300113_001

【準備等】ハンドボール、ビブス、カラーコーン、学習カード、デジタルタイマー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ハンドボールの特性を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>★ハンドボールの特性を知ろう。</p> <p>○ハンドボールの特性や成り立ちを知る。</p> <p>○学習のねらいや進め方を知る。</p> <p>○学習カードの使い方を知る。</p> <p>○マナーや安全な行動の仕方を知る。</p> <p>○試しのゲームをし、めあてをつかむ。</p> <p>2～6 基本的な技能を練習する。</p> <p>★基本的な技能を身に付けよう。</p> <p>○ドリブルの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグザグドリブル ・ドリブルリレー <p>○パスの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショルダーパス ・アンダーハンドパス ・ラテラルパス <p>○シュートの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプシュート ・ステップシュート ・倒れ込みシュート <p>○オフェンス有利の簡易ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3対2 ・4対3 ・5対4 など <p>7～11 空いたスペースを使った作戦を考え、チーム練習をする。</p> <p>★空間をうまく利用しよう。</p> <p>○基本的な技能の確認をする。</p> <p>○空間を使った作戦を考える。</p> <p>○簡易ゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボールの特性や成り立ちを説明する。 ・技術の名称や行い方、関連して高まる体力については、単元を通して理解できるようにする。 ・攻撃を重視し、空間に仲間と連携して走り込み、マークをかわしてゴール前での攻防を展開できることをねらいとする。 ・学習カードには、パスやシュート、個人的技能のポイントを記載し、練習時に有効に活用できるようにする。 ・ルールについては、随時教えていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・利き手だけでなく反対の手も使わせる。 ・リレーなどを取り入れることによって、意欲化を図る。 ・パスではスナップをきかせるように意識させる。 ・パス練習では、キャッチも意識して練習をさせる。 ・バウンドさせたパスなども随時入れるように練習をさせる。 ・ボールをキャッチしてから3歩のリズムでシュートに入れるような足運びをさせる。 ・ドリブルからのシュートやパスからのシュートなど、条件を変えて練習させる。 <p>【評】ボール操作の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことを意識させる。 ・守備者がいない状態でシュートを打つことを意識させる。 ・簡易ゲームで気付いたことを学習カードに記入させる。 <p>【評】簡易ゲームを通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】学習カードの記入を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルやパス、シュートなどの基本的な技能の練習をさせる。 ・攻撃面では、チーム内で空間をうまく利用できるように話し合わせ、作戦を立てさせる。 ・マークを外して、フリーな状態でボールをもちょうとすることができる位置取りを意識させる。 ・守備面では、ボールを持っている人をマークできるような位置取りを考えさせる。 <p>【評】作戦を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能の習熟度に合わせて、人数やコート広さ、ルール等を工夫する。 ・攻撃側は空間をうまく利用できるような作戦

12～14 リーグ戦をする。

★チームの特徴を生かしてゲームをしよう。

○チームで作戦を立て、練習をする。

○ルールを確認する。

○リーグ戦をする。

○活動を振り返り、まとめをする。

を意識させる。

・守備側は、空いている場所を作らないような位置取りをさせる。

【評】簡易ゲームを通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・チームの特徴を生かした作戦を考え、チームごとに練習をさせる。

・相手や仲間の素晴らしいプレイやフェアなプレイを認め合うことを意識させる。

【評】リーグ戦を通して、「知識・技能」を評価する。

・ゲームを振り返り、次時に生かせるようなまとめをさせる。

【評】活動を振り返り、まとめをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】単元全体の活動やリーグ戦で評価し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

ハンドボールは、ドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを放ち、一定時間内に相手チームより多くの得点を競い合うゲームである。本単元では、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームが展開できるようにする。